

名 前	第一回茨木市部活動の地域移行検討協議会（まとめ）		
日 時	2024年7月3日（火） 17:00～18:30	場 所	市役所南館 10階
出 席 者	【委員】 10名 ■辰本委員（委員長）・廣瀬委員（副委員長）・野口委員（副委員長） 松元委員・壽崎委員・塚本委員・春日委員・田中委員・福田委員・西浦委員		
	【事務局】 7名 ■市民文化部 スポーツ推進課 小西課長、坪田参事 ■茨木市教育委員会 学校教育部 学校教育推進課 梶西次長、岡田課長代理、田中指導主事、森山指導主事（記録） ■教職員課 上垣内指導主事		
欠 席 者	なし		

## 【資料】

- ・資料1 次第

## 【第1回 議事内容(まとめ)】

## 1 はじめに

（あいさつ）梶西 学校教育部次長 兼 学校教育推進課長より

国や府の動向をふまえ、今日にいたるまで関係各課とも丁寧協議し、進めてきた。そうした中で、本日この協議会を開催できることを大変嬉しく思う。部活動の在り方については市民の関心も高く、これまでから文化芸術・スポーツ等で活躍されてきた委員のみならずと密に連携をして、本市にあった地域連携・地域移行の形をこの協議会で議論を深めていきたいと思う。

ぜひ、忌憚のないご意見をいただきたい。今日をスタートに今後ともよろしく願いたい。

## 2 会長・副会長の選出について

全会一致で、委員長に辰本委員、副委員長に廣瀬委員、野口委員が選出された。

## 3 中学校部活動の現状と課題について

○事務局より説明

- ・部活動の意義について
- ・国および府の動き
- ・全国(他自治体)の動向
- ・本市の児童生徒数等予測
- ・本市の教職員時間外等労働時間および部活動の実態に関する推移
- ・本市の部活動の今後の方向性(案)
  - ◆生徒たちの多様な活動機会の確保と環境の整備
  - ◆教職員（顧問）の働き方改革の推進（部活動の指導に係る負担軽減）
- ・令和5年度の取組
  - 在り方検討委員会の開催（9回/年）、拠点校制度の導入整備（様式等作成）
  - 茨木市部活動の在り方に関する方針の改訂
- ・令和6年度の取組計画
  - 検討協議会の設置、実態(ニーズ)把握、モデル実施の準備、部活ヒアリング
- ・令和6年度中に行いたいことと今後の地域移行等で想定される課題
  - ①運営主体 ②実施主体 ③指揮者 ④会場・用具 ⑤兼職兼業 ⑥受益者負担
- ・協議議題の説明
  - ①アンケート項目について ②受益者負担の有無について ③今後、想定される課題について

## ○質疑応答

## ①アンケート項目について

- ・アンケートの対象と実施時期について
  - －中学校1、2年生の生徒、保護者、中学校教職員を対象に7月16日(火)～8月5日(月)の期間で実施予定。
- ・活動場所への移動について
  - －基本の想定は徒歩か自転車である。送迎バスについては予算上難しいと考えられる。活動場所までの距離や移動については課題の一つである。
- ・今後のアンケート項目の修正案等について
  - －気づいた点は、忌憚なく今週中に事務局まで連絡いただきたい。

## ②受益者負担の有無について

- ・できる限り家庭の負担が軽減できるよう、例えば企業に青少年育成の寄付を募ったり、学生が多い町なので、学生ボランティアを活用することによって負担を減らせないか。
- ・親の経済力によって、活動を断念せざるを得ないような状況は忍びない。そのような地域移行の形は望ましくないと考える。
- ・理想は個人の負担がないのが一番よいが、「持続可能」な形にするには、果たして本当に受益者負担なしでできるのかどうかをよく考えなければならない。企業から毎年同程度の寄付金が集まるかは不透明な部分ではないだろうか。  
保護者からの話では、クラブチームに加入すると月謝だけで7,000円以上するチームもあれば、指導者のボランティアで運営しているところもあるという。ただし、ボランティア精神だけでは、その指導者がいなくなると、続かない。大学生も現状はアルバイトに勤しむ学生が多く、ボランティアでは残念ながら、人は集まらないだろう。もう少し、慎重に考える必要があると考えている。  
－無償ですべてを実施することは理想ではあるが、地域移行となると地域クラブの指導者には、府からの部活動手当も支払われなくなるため、すべてを市の予算で賄うことは、困難である。

## ③今後、想定される課題について

- ・運営主体および実施主体は、どのような団体を想定していくのか。
- ・コーディネートの役割を担える人材が不可欠である。
- ・指導者の確保について、どのように進めていくのか。
  - －登録制度等を整備したうえで、募集用ポスターを現在クリエイティブパートナー制度を活用して作成中である。昨年度、協定を結んでいる大学には、周知協力を依頼済みである。  
本市は大学も多い街なので、大学生の力も大いに活用していきたい。そのためにも、部活動指導員・指導者の枠を拡充するとともに、実態に応じた勤務形態・報酬に改訂していきたい。

## 4 おわりに

(あいさつ) 小西 市民文化部 スポーツ推進課長より

協議会にご参加いただき御礼申し上げます。今後協議を深めながら、本市に適した持続可能な地域移行の方策について、委員のみなさまのお力をお借りしながら競技を深め、今後も進めていきたい。

(次回の開催連絡)

- ・第2回:令和6年10月25日(金) 16時00分～@市役所南館10階 大会議室
- ・第3回:令和7年1月27日(月) 16時00分～@教育センター4階(未定)